

令和7年度 第8回庁議要点記録

日 時：令和7年7月11日（金）午後4時～4時45分

場 所：庁議室

出席者：市長、橋本副市長、塩野目副市長、教育長、政策部長、公共施設マネジメント担当部長、総務部長、市民生活部長、健康部長、福祉部長、子ども家庭部長、まちづくり部長、建設環境部長、教育部長、市政戦略室長、政策経営課長、議会事務局長、秘書課長、情報管理課長、デジタル行政推進室長、公共施設マネジメント課長、政策法務課長、財政課長、環境経営課長、会計管理者心得

議 題

○市長退任に当たって

橋本副市長： 令和7年度第8回庁議を開催します。市長の任期は明日で満了ですが、土曜日のため出勤されませんので、本日が最終登庁日です。3期12年にわたり国分寺市政を前に進めていただいた井澤市長の最後の勤務日ですので、市長退任に当たって御挨拶をいただきたいと思います。市長お願いします。

市 長： はじめに、皆さん大変お世話になりました。御礼を申し上げます。

平成25年から市長に就任しました。その前に議員として8年勤めましたので、以前から顔を見たことがある方もいたと思います。市役所に来るようになってから20年が経ちました。皆さんの力で、ここまで市政を前に進めてこられたと思っています。本当に良い職員に恵まれたとつくづく思います。

いろいろな難局がありましたが、振り返ると幸運であったというのが今の感想です。皆さんにとっては本当に忙しい市長で、先のことばかり言っていると思ったのではないのでしょうか。しかしながら、先に取り組むことで何かあっても取り返しがつくこともあります。

最終の成果としてこの新庁舎に皆さんと一緒に入れたことが、私にとって非常にうれしい出来事です。

最近では、新型コロナウイルス感染症の拡大があり、皆さんにも非常に苦勞をかけたと思います。福祉分野はサービスが拡大しており、いろいろな業務が増えることが予想された中で、福祉部や子ども家庭部だけでは対応できないだろうと考え、感染拡大前に新たに健康部を組織しました。その後、急速に感染拡大が始まり、すぐに健康部中心に動けたことは大きかったと思っています。

あえて災害と言わせてもらいますが、先の見えない災害が発生して皆さんと一緒に対応してきましたが、多くの方々がそれぞれの役割をきちんと果たして、本当に良くやっていただいたと思っています。あの難局をなんとか乗り越えることができ、また、あのような状況の中で、同時期に庁舎建設を進められたこともよかったと思います。

あの時期に土地が取得でき、建設に着手できたことは幸運でした。事業者が決まったので早く資材を調達しなければならない状況でしたし、建設作業は屋外が中心で、感染拡大に関係なく進めてもらえたことも大きかったと思います。私が最初に市長選挙に出る時、3期12年の任期と新庁舎を建設することを大きな公約にしました。前年の12月に庁舎移転の特別決議をもらえたこともよかったと思っています。

今は直近の出来事しか評価できていませんが、就任当初からここに至るまで皆さんに御協力いただき、国分寺駅北口再開発事業や3市による可燃ごみ共同処理など、いろいろ

ろな課題を計画どおり進めることができたことで、現在があると思っています。これからも皆さんがこの職場で十二分に力を発揮してもらえれば、更に国分寺市の発展が図れるのではないかとと思っています。

今回、私より30歳若い市長が誕生しました。私よりパワーがあると思います。私ほどせっかちではないかもしれません。皆さんに苦勞をかけることがないように、私からもお話ししておきますので、部長をはじめ、多くの職員の方々にしっかり支えてもらって市政を進めていただければと思っています。

御挨拶に当たり、簡単に今までの状況を振り返りました。本当に皆さんの力がないと、ここまで進められなかったと思います。そして、私にとってこの12年間は、非常に充実した人生でした。それまで長く生きてきましたが、本当に遅咲きの集大成だったと感じています。

皆さんにこの市を更に発展させていってほしいと思っていますので、これからも力を十二分に発揮し、また後輩を育てていってください。いつも言っているように、人ではなく組織で仕事をするということを意識して、国分寺市役所、そして国分寺市が永遠に発展していくことを御祈念申し上げます。本当に長い間お世話になりました。ありがとうございました。

橋本副市長： 市長に御挨拶いただきましたので、メンバーからも市長に御挨拶をお願いします。

～～メンバー御挨拶～～

橋本副市長： 以上で庁議を終了します。